

愛媛県大洲市の「歴史的建造物を活用した観光まちづくり」が 2021年度グッドデザイン賞を受賞

一般社団法人キタ・マネジメント及びバリューマネジメント株式会社、株式会社 KITA が愛媛県大洲市の肱南地区にて取り組んでいる「歴史的建造物を活用した観光まちづくり」が、公益社団法人日本デザイン振興会が主催する「2021年度グッドデザイン賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。



GOOD
DESIGN
AWARD
2021



【グッドデザイン受賞内容】

これまで観る対象だった文化財などの歴史的資源を活用し、顧客が利用することで町に賑わいを取り戻すことを目的に、持続可能なまちづくりを目指す。愛媛県大洲市の城下町では日本初の城泊、及び分散型ホテルにおいて官民連携した取り組みを実践。この取り組みが評価され、2021年度グッドデザイン賞の「17-01 地域の取り組み・活動」において受賞。

【本プロジェクトメンバー、及び受賞者】

- ・バリューマネジメント株式会社（大阪府）[代表取締役 他力野淳]
- ・一般社団法人キタ・マネジメント（愛媛県）[代表理事 高岡公三]
- ・株式会社 KITA（愛媛県）[代表取締役 井上陽祐]

【本事業の取り組みによる成果】

大洲城下町の町家や城の活用以外にも、国の重要文化財である臥龍山荘を活用。キャッスルステイの利用者の朝食の場として非日常コンテンツを提供している。大洲城と同じく一般営業時間外での活用により、文化財としての価値はそのままに、体験価値を加えることで町の魅力向上に寄与しています。実際の利用者については、2020年7月のオープン以降、コロナ禍にも関わらず、4組のキャッスルステイ利用者と1,400組・約2,700名の分散型ホテル利用者を創出(2021年4月末までの実績)。町の歴史的資源の活用は現在も進行中であり、分散型ホテルの客室は増床を予定。2021年4月には新たに国登録有形文化財の旧加藤家住宅をリノベートした一棟貸し切りの客室がオープン。敷地内の国指定重要文化財「大洲城三の丸南隅櫓」での夕食体験も実現。現在、大規模な第二期整備を進め、今後も分散型ホテルとして客室の増床が計画されています。

【評価者コメント】

各地に展開する「NIPPONIA」と「NIPPONIA HOTEL」。歴史的建造物を利活用する宿泊施設として知られているが、特に大洲市での取り組みで評価のポイントとなったのは、「文化財は行政が維持管理するもの」という従来の考え方を打破して、民間事業者の収益によって保全利活用を試みていること。「日本初の城泊」という話題性を元に「大洲」という街の名前をPRしていこうという点も興味深い。「城泊」は1泊1名55万円と高額だが、唯一無二の体験が可能なこと、文化財保全の募金的側面を考えれば決して高くはない。各地に展開する「NIPPONIA」「NIPPONIA HOTEL」の実績も踏まえて高く評価した。

※城泊の料金について、実際は「1泊2日・2名1,100,000円〜」。

【問い合わせ先】

一般社団法人キタ・マネジメント 企画課 井上・伊賀

電話 0893-24-7060

メール kita-management@kita-m.com